

知立市商工会青年部創立60周年記念

市長 × 知立市商工会青年部 三役 対談



(写真左から) 有江大輔副部長・滝亜矢子部長・石川智子市長・加藤道章副部長

今年は創立60周年！広がる青年部の活動

今年、知立市商工会青年部は創立60周年を迎えます。6月の記念式典には、市長をはじめ多くの方が出席し、盛大に行われました。部員数も近年大きく増え、現在は41名に。「事業をやればやるほど、新しいつながりが生まれていく」と、活動の輪も広がっています。

知立駅周辺の飲み歩きイベント「39呑み」は今年で3回目。今年は過去最多の40店舗が参加し、今回初めて、参加チケットをふるさと納税の返礼品として出品する取り組みも行いました。また、親子連れなどでまちを巡る謎解き周遊イベント「知立あるクエスト」も好評でした。どちらも、参加者が知立のまちを実際に歩き、新しいお店や名所に出会うきっかけになっています。

商工祭、再び

市長は商工祭の思い出について「商工祭って、懐かしいなと。小学生の頃に行った時、すごく楽しかった」と語りました。その記憶を今の形で再現したいという青年部60周年実行委員会の熱い想いに、市長は「素晴らしい企画。行政としてできることを協力したい、と思いました」と期待を寄せました。

実現に向けてはさまざまな協力があり、知立市商工会青年部初の女性部長を務める滝さんも「本当に多くの皆さんが協力してくれた」と振り返ります。詳細は今後配布されるイベントチラシで発表される予定です。

これからの知立を、もっと面白く

対談の後半は、青年部副部長とともにまちを盛り上げる自由なアイデアトークに。有江副部長からは、駅前にオフィスやコワーキングスペースを作りそれを活用した起業支援、加藤副部長からは企業誘致やふるさと納税の活用強化について意見が出ました。滝部長は、美と健康をテーマにしたイベントやまちづくりを提案。話は大いに盛り上がりました。市長は対談を振り返り、これまでは守ることに目が向きがちだったが、若い世代や知立の未来に投資する意識を持ちたいと語りました。

知立市商工会青年部創立60周年を記念して、商工祭りバイバル「シルシルミチリュ(ウ)」が11月8日に開催されます。かつて多くの市民に親しまれた「商工祭」。今回、事業実施にあたり市長と知立市商工会青年部部長による対談が実現。これまでの活動や、青年部のいまの活躍、そしてこれからのまちづくりについて語り合いました。

新しい知立名物、駅前のこれから

対談では「全国から来てもらえるような、新しい知立名物ができたら」という声に、市長も「そこから知立市が歴史あるまちということを知っていただき、知立駅で降りて楽しんでもらえるまちにしたい」と、期待をにじませました。「駅前や高架下がもっとにぎわう場所にしたい」という、青年部の皆さんならではの視点のお話をいただきました。

市長からのメッセージ

「青年部の皆さんの斬新な提案には、いつも新たに気づかされます。これからも、さまざまなアイデアをぜひ届けてください。一緒にまちを盛り上げていきましょう」

青年部の皆さんのこれからの活動にご注目ください。



知立市商工会青年部60周年記念事業 【シルシルミチリュ(ウ)】

問 商工会 (☎81-0904)

60年間の歴史を支えていただいた市民の皆さんへ感謝の思いを込めて記念事業を行います。知立駅前で歩行者天国&ステージイベントを実施。飲食・体験・PR等の約60店舗が出店します。時代と共に移り変わる知立駅付近の変化を感じられるエリアや、子どもたちが思う未来の姿に加え、市民・地域・企業・団体交流の促進、地域経済・文化の活性化を目的として、まちの賑わい創出を行います。

時 11月8日(日) 11時～15時

所 知立市駅前駐車場周辺

申 不要



▲商工会青年部
ホームページ